

ビーキャス B-CAS カードの挿入

確認

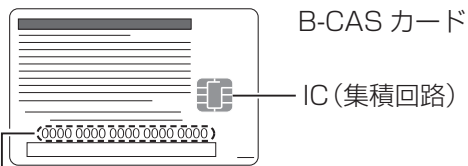
- カードおよび台紙に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約約款」をよくお読みください。

地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー制御信号を加えて放送されています。

その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■B-CASカードについて

- 台紙に添付されています。
※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



B-CASカード番号

- B-CASカードを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記載欄にメモしておいてください。

■B-CASカード取り扱い上の留意点

- ・折り曲げたり、変形させない。
- ・重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- ・水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- ・IC(集積回路)部には手をふれない。
- ・分解加工は行わない。
- ・BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しない。
(同梱のB-CASカードは地上デジタル専用です。)

■B-CASカードについてのお問い合わせ (故障交換や紛失時など)は

(株)ビーエス・コンディショナルアクセス
システムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

入れかた

- 1 エンジンを切り、ACCオフにする
- 2 B-CASカードを奥まで確実に挿入する

■B-CASカードのテストをするときは ([P.31](#) ページ「B-CASカードの番号などを見る」)

取り出しかた

- 1 エンジンを切り、ACCオフにする
- 2 本体を浮かせて、B-CASカードを下に押し、ツメにかからないように引き出す

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。(P.31ページ)

お願い

カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせください。修理センターなどでカード交換を行った際発生した作業工賃などの費用は、お客様の負担となります。

メニュー画面の操作と項目

画面で確認しながら設定や放送メールなどの情報を見ることができます。

メニュー 押す
●「メニュー画面」が表示されます。

押しして項目を選ぶ
●本書ではこの操作を▲▼◀▶で表記しています。

押し
●本書ではこの操作を(決定)で表記しています。

設定した項目は黄色表示
選択中の項目は黄色表示

<メニュー画面>

地上D 011 NHK総合・大阪
受信モード 自動切換 ワンセグ 地上D
プリセットモード ホーム おでかけ
おでかけモードプリセット 初期スキャン 再スキャン
システム設定 放送局一覧 信号切換 情報/メール

1つ前の画面に戻る

設定内容に応じて▲▼◀▶で選択と(決定)(決定)を繰り返します。

■メニュー画面

地上D 011 NHK総合・大阪
受信モード 自動切換 ワンセグ 地上D
プリセットモード ホーム おでかけ
おでかけモードプリセット 初期スキャン 再スキャン
システム設定 放送局一覧 信号切換 情報/メール

チャンネルを受信するモードの選択([P.22](#)ページ)

視聴するモードを選択([P.21](#)ページ)

おでかけモードでのスキャンを行う([P.20](#)ページ)

B-CASカード番号、放送メール、ソフト、本機の情報などを表示、カードテストの実行([P.31](#)、[P.32](#)ページ)

二重音声や字幕などを設定([P.29](#)ページ)

現在登録されている地上デジタル放送の放送局を一覧で表示([P.30](#)ページ)

オート放送局サーチを利用するための設定([P.23](#)ページ)

独立データ放送を選局するための設定([P.23](#)ページ)

移転などでの郵便番号変更([P.33](#)ページ)

移転などでの地域変更([P.33](#)ページ)

音声レベルを設定([P.29](#)ページ)

ホームモードでのスキャンを行う([P.18](#)ページ)

工場出荷時の設定に戻す([P.33](#)ページ)

確認

メニュー画面の操作と項目